

南都銀行・奈良県共催 近畿財務局後援

## 第8回 観光力創造塾

## 奈良県観光の未来

第8回観光力創造塾(南都銀行・奈良県共催・近畿財務局後援)が去る7月19日、奈良市春日町の奈良春日野国際フォーラムで開催され、県内の宿泊、観光、飲食寺院などの関係者約350人が参加した。同塾は国内外からの宿泊観光客を県内に誘致する仕組みを考えることを目的に開かれており「奈良県観光の未来」をテーマに文化財観光の現状と問題点対策などに関する基調講演、パネルディスカッションを行った。また小西美術工藝社社長で県立大学客員教授のデービッド・アトキンソン氏が「文化財観光の必要性」と題して基調講演。続いてアトキンソン氏を交えて金峯山寺長膳(ちようざんじのながぜん)の田中利典氏、海龍王寺住職の石川重元氏、明日香村長の森川裕一氏、県観光局理事兼ビジターズビューロー業務執行理事の中西康博氏がパネルディスカッションした。

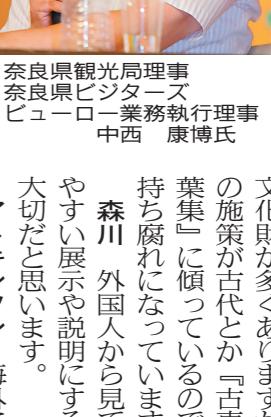
◇第1部 基調講演	「文化財観光はなぜ必要か」
新・観光立国論 小西美術工藝社社長 デービッド・アトキンソン氏	「文化財観光はなぜ必要か」
奈良県内には、多数の国宝・重要文化財の建造物があります。これを活用して観光客を誘致していくためには、インバウンドすなわち短期移民が大切です。	国です。そして観光立国のキーワードは「多様性」です。多様性による相乗効果を發揮すれば、観光立国だけではなく、観光大国になることも不可能ではありません。
奈良県内には、多数の国宝・重要文化財の建造物があります。これを活用して観光客を誘致していくためには、インバウンドすなわち短期移民が大切です。	されば、観光立国だけではなく、観光大国になることも不可能ではありません。
日本的人口は今後減少していく傾向にあり、人口が減少する分は海外から来ていただ	たとえば、フランスを訪れる外国人観光客は8400万人など、フランスにはスキーリゾート、ビーチリゾートと多様な観光資源があるからです。一方で、さまざまな観光客が来る傾向にあります。それが多様になりますが、それが多様になりますが、それが多様になります。
世界の観光産業は、GDPの10%を占め、11億8600万人の国際観光客があり、これがエネルギー、化学製品に次ぐ第3の基幹産業であり、この規模は4位の食品、5位の自動車よりも大きいのです。	たとえば、イギリスは、もう一度あつた土着の宗教を、ローマの征服を機にカトリックに変じ、やがて英國国教会になりました。その点、日本は神社や寺院の文化は、あまり入れ替わらないといえません。
訪日外国人観光客は2011年現在、2403万人ですが、2030年までに820万人にすることが目標です。	洋食も中華料理もあります。おもてなし、治安、公共交通機関のダイヤの正確さは、やすいので好まれます。日本の文化は、あまり入れ替わらないといえません。
日本は、2403万人ですが、2030年までに820万人にすることが目標です。	外国人観光客を引きつける要素は、やはり、イギリスは、もう一度あつた土着の宗教を、ローマの征服を機にカトリックに変じ、やがて英國国教会になりました。その点、日本は神社や寺院の文化は、あまり入れ替わらないといえません。
観光立国には四つの条件があります。すなわち自然・気候・文化・食事ですが、日本はすべてを満たす稀有な	洋食も中華料理もあります。おもてなし、治安、公共交通機関のダイヤの正確さは、やすいので好まれます。日本の文化は、あまり入れ替わらないといえません。
日本の観光客の半分は、中國韓国と台湾からです。近隣諸	たとえば、イギリスは、もう一度あつた土着の宗教を、ローマの征服を機にカトリックに変じ、やがて英國国教会になりました。その点、日本は神社や寺院の文化は、あまり入れ替わらないといえません。
日本にやって来るアジアからの観光客は、85%がアジアからの観光客です。ちなみにアメリカは近隣諸国からの観光客が55%です。遠い国からの観光客は、85%がアジアからの観光客です。ちなみにアメリカは近隣諸国からの観光客が55%です。	たとえば、イギリスは、もう一度あつた土着の宗教を、ローマの征服を機にカトリックに変じ、やがて英國国教会になりました。その点、日本は神社や寺院の文化は、あまり入れ替わらないといえません。
日本にやって来るアジアからの観光客は、85%がアジアからの観光客です。ちなみにアメリカは近隣諸国からの観光客が55%です。	たとえば、イギリスは、もう一度あつた土着の宗教を、ローマの征服を機にカトリックに変じ、やがて英國国教会になりました。その点、日本は神社や寺院の文化は、あまり入れ替わらないといえません。

## 世界一訪れたい奈良県へ

◇第2部 パネルディスカッション	「神仏の聖地」現場から
「神仏の聖地」現場から 奈良県観光局理事 小西美術工藝社社長 デービッド・アトキンソン氏	「神仏の聖地」現場から
金峯山寺長膳 金峯山寺住職 明日香村長 奈良県ビジターズビューロー業務執行理事 シニアスタッフ	金峯山寺長膳 金峯山寺住職 明日香村長 奈良県ビジターズビューロー業務執行理事 田中 利典氏 森川 裕一氏 中西 康博氏
コーディネーター 南都銀行 公務・地域活力創造部 小西美術工藝社社長 デービッド・アトキンソン氏	コーディネーター 南都銀行 公務・地域活力創造部 中西 康博氏
小西美術工藝社社長 デービッド・アトキンソン氏	小西美術工藝社社長 デービッド・アトキンソン氏

ごあいさつ

奈良県観光局長 森田 康文



奈良県観光は、首都圏の方を中心いかに奈良に来ていただくかということがこれまでの課題でしたが、今後はインバウンドなどさらに新たなステージに高めていく必要があります。そのためには積極的な議論を深めていなければなりません。

奈良県観光は、首都圏の方を中心いかに奈良に来ていただくかということがこれまでの課題でしたが、今後はインバウンドなどさらに新たなステージに高めていく必要があります。

奈良県観光は、首都圏の方を中心いかに奈良に来ていただく